

# 第三期鳥取県医療費適正化計画の進捗状況について(目標値を定めている項目のみ)

高齢者の医療の確保に関する法律第11条の規定により、本県の医療費適正化計画の進捗状況を公表します。  
 なお、第三期鳥取県医療費適正化計画に基づき、計画の進捗状況を平成31年3月7日に開催した医療費適正化計画策定評価委員会に報告しました。

## 【第三期鳥取県医療費適正化計画(抜粋)】

医療費適正化計画の実効性を高めるために、PDCAの一連のサイクルの中で進捗管理を図っていきます。  
 また、医療費適正化計画策定評価委員会において、年度ごと(計画最終年度及び実績評価を行った年度を除く)に本計画の進捗状況を報告するとともに県のホームページ等で公表します。  
 その際に、本計画に掲げた目標の達成が著しく困難と見込まれる場合など、その要因を分析・検討し、必要に応じて施策等の内容の見直しを図ります。

空欄は目標値なし又は実績なし(未公表)

	第三期医療費適正化計画(平成30年度～令和5年度)					備考
	平成27年度 (策定時:実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (初年度:実績)	令和5(2023)年度 (目標(見込)値)	
<b>I 県民の生涯にわたる健康の保持・増進</b>						
1(1) 健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均) (男性) (順位:降順)		71.69年	33位			全国順位10位以内
(参考:全国)		72.14年				健康寿命の増 平均寿命の増
1(2) 健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均) (女性) (順位:降順)		74.14年	40位			全国順位10位以内
(参考:全国)		74.79年				健康寿命の増 平均寿命の増
2(1) 平均寿命 (男性) (順位:降順)	80.17年	39位				全国順位10位以内
(参考:全国)	80.77年					健康寿命の増 平均寿命の増
2(2) 平均寿命 (女性) (順位:降順)	87.27年	14位				全国順位10位以内
(参考:全国)	87.01年					健康寿命の増 平均寿命の増
3(1) 特定健康診査の実施率 (順位:降順)	45.9%	35位	48.1%	31位		70%以上
(参考:全国)	50.1%		51.4%			70%以上
3(2) 特定保健指導の実施率 (順位:降順)	24.6%	8位	22.2%	23位		45%以上
(参考:全国)	17.5%		18.8%			45%以上
4(1) メタボリックシンドローム該当者割合 (順位:昇順)	13.4%	4位	13.8%	5位		11%以下
(参考:全国)	14.4%		14.8%			
4(2) メタボリックシンドローム予備群割合 (順位:昇順)	11.5%	17位	11.5%	14位		9%以下
(参考:全国)	11.7%		11.8%			
(参考:国基準) メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率 (平成20年度対比)	△ 0.1033		△ 2.0769			
(参考:全国) 平成20年度対比	2.7409		1.0554			25%減少
5(1) 75歳未満のがんの年齢調整死亡率(10万人当たり) (男女計)			84.1人	86.0人		70.0人未満
(参考:全国)			76.1人			73.9%以下
5(1) 75歳未満のがんの年齢調整死亡率(10万人当たり) (男性)			114.3人	107.4人		90.0人未満
5(1) 75歳未満のがんの年齢調整死亡率(10万人当たり) (女性)			55.7人	65.8人		50.0人未満
6(1) がん検診受診率 (胃がん)			44.7%			70%以上
(参考:全国)			40.9%			40%以上
6(2) がん検診受診率 (肺がん)			52.3%			70%以上
(参考:全国)			46.2%			40%以上
6(3) がん検診受診率 (大腸がん)			43.5%			70%以上
(参考:全国)			41.4%			40%以上
6(4) がん検診受診率 (子宮がん)			44.8%			70%以上
(参考:全国)			42.3%			50%以上
6(4) がん検診受診率 (乳がん)			45.5%			70%以上
(参考:全国)			44.9%			50%以上
7(1) 喫煙する者の割合 (男性)			32.0%			20%以下
(参考:全国)			31.1%			12%以下
7(2) 喫煙する者の割合 (女性)			5.5%			3%以下
(参考:全国)			9.5%			12%以下
8(1) 未成年者の喫煙する者の割合 (中学2年)			2.5%			0%
8(2) 未成年者の喫煙する者の割合 (高校2年)			4.6%			0%

	第3期医療費適正化計画(平成30年度～令和5年度)					備考
	平成27年度 (策定時:実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (初年度:実績)	令和5(2023)年度 (目標(見込)値)	
9(1) 受動喫煙を経験した者の割合 (医療機関)		3.4%			0%	
(参考:全国)		6.2%			0.0%	
9(2) 受動喫煙を経験した者の割合 (学校)		1.2%			0%	
(参考:全国)		5.0%			0.0%	
9(3) 受動喫煙を経験した者の割合 (職場)		34.3%			0%	
(参考:全国)		30.9%			0.0%	
9(4) 受動喫煙を経験した者の割合 (行政機関)		12.5%			0%	
(参考:全国)		8.0%			0.0%	
9(5) 受動喫煙を経験した者の割合 (飲食店)		34.7%			10%	
(参考:全国)		42.2%			15.0%	
10(1) 多量に飲酒する人の割合 (成人男性)		4.8%			3%以下	
(参考:全国)					13%以下	
10(2) 多量に飲酒する人の割合 (成人女性)		1.2%			0.5%以下	
(参考:全国)					6.4%以下	
11(1) 未成年者の飲酒の割合 (中学2年)		17.4%			0%	
11(2) 未成年者の飲酒の割合 (高校2年)		21.6%			0%	
12(1) 自分の歯を有する者の割合 (80歳代で20歯以上)		35.1%			40%以上	
(参考:全国)		37.2%			50%以上	
12(2) 自分の歯を有する者の割合 (60歳代で24歯以上)		61.2%			70%以上	
					70%以上	
12(3) 自分の歯を有する者の割合 (40歳代で喪失歯のない者)		60.3%			70%以上	
					75%以上	
13(1) フッ化物洗口に取り組む施設数(4歳～14歳まで) (就学前:保育所、幼稚園、認定こども園)		116/214 施設			133施設以上	
13(2) フッ化物洗口に取り組む施設数(4歳～14歳まで) (就学後:小学校、中学校、特別支援学校)		7/203 施設			17施設以上	
(参考:鳥取県歯科保健推進計画(H30年11月策定))			(H30.8末)			
フッ化物洗口に取り組む施設の増加(就学前)		54%	54%		65%以上	
フッ化物洗口を小・中学校等において取り組む市町村の増加	2市町村		2市町村		全市町村	
フッ化物洗口に取り組む施設の増加(児童養護施設)	0/5施設		0/5施設		全施設	
14(1) ストレスを感じた者の割合 (男性)		19.3%			10%以下	全国の目標は、鳥取県健康づくり文化創造プラン(第三次)の参酌標準に記載された数値である。
14(2) ストレスを感じた者の割合 (女性)		19.6%			10%以下	
15 睡眠による休養を十分とれていない者の割合		22.4%			15%以下	
(参考:全国)		(H26)20%			15%以下	
16 健康経営マイレージ事業に参加する事業所数		1,087 事業所	(H31.1末) 1,970 事業所		3,000事業所以上	
17(1) 運動習慣者の割合 (成人男性)		26.5%			30%以上	全国の目標は、鳥取県健康づくり文化創造プラン(第三次)の参酌標準に記載された数値である。
(参考:全国)		35.1%			36%以上	
17(2) 運動習慣者の割合 (成人女性)		21.4%			30%以上	
(参考:全国)		27.4%			33%以上	
18(1) 日常生活における1日の歩数 (成人男性)		6,424歩※			8,000歩以上	
(参考:全国)		6,984歩			9,000歩以上	
18(2) 日常生活における1日の歩数 (成人女性)		5,598歩※			7,000歩以上	
(参考:全国)		6,029歩			8,500歩以上	

	第3期医療費適正化計画(平成30年度～令和5年度)					備考	
	平成27年度 (策定時:実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (初年度:実績)	令和5(2023)年度 (目標(見込)値)		
<b>II 適切な医療の効率的な提供</b>							
2 24時間体制の訪問看護ステーションの数				38箇所 (6.7箇所/10万人)	54箇所	57箇所 (10.8箇所/10万人) ※ 2023(令和5)年の人口を 529,710人として 算出	
3 開設許可薬局における「かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料施設基準届出」薬局数の割合				49.5%	(H31.11.1) 56.5%	70%以上	
<b>III 保険者等による医療費適正化の推進</b>							
1 市町村保健事業の実施計画(データヘルス計画)の策定		57.9% (11/19市町村)		78.9% (15/19市町村)		2018(平成30)年度までに100% (19/19市町村)	
2 県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの策定				未策定	H30.12策定	2018(平成30)年度中に策定	
3(1) 糖尿病有病者の割合 (40～74歳)	6.8%	8.8%				6%以下	
3(2) 糖尿病予備群の割合 (40～74歳)	6.8%	8.8%				5%以下	
4(2)ジェネリック医薬品の使用割合(数量ベース)(順位:降順)	65.8%	12位	72.6%	9位	77.0%	9位	82%以上
(参考:全国)	63.1%		68.6%		73.0%		2020年9月までに 80.0%以上

**【補足】**

ジェネリック医薬品の使用割合(数量ベース):〔後発医薬品の数量〕/〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕で算出(平成25年度からこの方式が採用)

	第3期医療費適正化計画(平成30年度～令和5年度)					備考
	平成27年度 (策定時:実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (初年度:実績)	令和5(2023)年度 (目標(見込)値)	

(参考) 医療に要する費用の見通し

医療費 (国民医療費:国試算): 鳥取県	2,000	億円	1,985	億円		億円		億円	適正化後推計値 2,196 億円
(H24対比の伸び率)	106.25%		105.45%						
(国民医療費:国試算): 全国	423,644	億円	421,381	億円		億円		億円	
(H24対比の伸び率)	108.04%		107.46%						

※ 国民医療費(国推計)・1人当たり 国が、県別の医療費を住所地で推計し、(かつては3年に1回)公表するものである。(単位:千円)(順位:降順)	鳥取県	349	20位	348	20位					最も医療費が高い都道府県が1位
	(参考:全国)	333		332						
※ 医療費の地域差分析 (1人当たり実績医療費) 国が毎年度、県別の1人当たり実績医療費を公表するものである。 (単位:千円) (順位:降順)	国保+後期(計):鳥取県	583	19位	588	19位					最も医療費が高い都道府県が1位
	(参考:全国)	537		544						
	国保(計) 鳥取県	374	18位	377	18位					
	国保(入院)	157	14位	161	16位					
	国保(入院外・調剤)	192	28位	192	26位					
	国保(歯科)	24	22位	24	28位					
	後期高齢者(計):鳥取県	904	28位	895	27位					
	後期高齢者(入院)	480	21位	482	21位					
	後期高齢者(入院外・調剤)	394	42位	385	42位					
	後期高齢者(歯科)	27	25位	27	28位					
※ 医療費の地域差分析 (地域差指数) 国が毎年度、国民健康保険と後期高齢者医療の県別の医療費を、年齢構成の相違による補正をした上で指数化(全国を1)し、公表するものである。(順位:降順) → 推計に当たっては、「医療給付実態調査」の医療費等の数値(診療月4月～3月)を、「国民健康保険事業年報」及び「後期高齢者医療事業年報」(診療月3月～2月)と一致させている。	国保+後期(計):鳥取県	0.994	24位	0.994	24位					最も指数が高い(補正後の医療費が高い)都道府県が1位(全国平均=1)
	国保(計):鳥取県	1.037	20位	1.038	21位					
	国保(入院)	1.15	17位	1.149	17位					
	国保(入院外・調剤)	0.972	36位	0.975	35位					
	国保(歯科)	0.933	25位	0.921	27位					
	後期高齢者(計):鳥取県	0.958	28位	0.961	28位					
	後期高齢者(入院)	1.015	21位	1.017	21位					
	後期高齢者(入院外・調剤)	0.906	40位	0.909	40位					
	後期高齢者(歯科)	0.863	23位	0.843	25位					

【補足】「国保」とは市町村国民健康保険を、「後期」・「後期高齢者」とは後期高齢者医療をいう。